



# RFL通信

## Vol.7 6月号

発行: 特定非営利活動法人 Return to Forest Life  
住所: 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3  
TEL: 03-5737-2816  
FAX: 03-5737-9552  
ホームページ: <http://www.returntoforestlife.or.jp/>  
E-mail: [info@returntoforestlife.or.jp](mailto:info@returntoforestlife.or.jp)



～手入れの進んでいるフタミの森の中では新しい命が生まれています～

皆様の活動のおかげで森に陽射しが入るようになり、今まで何も生えていなかった場所にも新しい命（植物）が育ち始めています。少しずつ生態系が豊かな森へと近づきつつあることを日々実感しています。ご支援に感謝申し上げます。

### 事務局長メッセージ

森の価値について前は『炭素循環』について説明させて頂きました。今回は『水の循環』について説明させて頂きます



### ■水の循環について

～空から降った雨がどのように循環していると思いますか？～

降った雨は下水道管へ流れ、その後、川に流れて海に流れそして蒸発して又雨になる・・・と思うのではないのでしょうか。実はこの流れは自然ではなく、都市をコンクリートやアスファルトで固めたここ200年ほどでできた流れなのです。本来の水の循環と言うのは、雨は森に覆われた土を通ることで涵養(かんよう)して地下水になります。浄化された地下水は徐々に流れ出て川となり、最後に海へ流れ出て行きます。この時、水は森の中で落ち葉や植物を微生物が分解して出来た『腐葉土の養分』を海まで運ぶ働きをしています。コンクリートやアスファルトに落ちた雨には養分を運ぶことが出来ません。清流と呼ばれている川には、必ずその水源となる豊かな森があるのです。**ミネラルが豊富な水には豊かな森が必要不可欠**なのです。また、海の生態系の土台でもあり、二酸化炭素吸収、酸素生成を行なっている『植物プランクトン』にとっても必要な栄養分のフラボ酸鉄は森の腐葉土から届けられているのです。

今日本には手入れがされておらず荒廃している人工林が400万ヘクタール(九州の面積)以上あるといわれています。荒廃した人工林の土には養分が少なく、また強い雨が降ると水を蓄える力が弱いため土砂崩れの原因にもなっています。大雨が降ると土砂崩れが発生したニュースを最近よく見ます。神戸大学の調査によると、その土砂崩れの約70%は手入れがされていない荒れた人工林が原因とのことです。健全な森の土は少しずつ水を流しだすダムのような働きもしています。晴れの日が続いても川の水が枯れないのはこのためです。

森に適度な陽射しが入り、色々な植物が自生し様々な生き物が生息する健全な人工林の管理をRFLも目指しています。1000年先の地球が水循環を取り戻すため、私たちは今から森林再生・保全に取り組む必要があるのです。(事務局長 小出)

～フタミの森に自生している植物の一部を紹介～

左からクマイチゴ、マンリョウ、ゼンマイ、フタリシズカ



=森を守る活動をされている方の紹介=

東日本大震災で被災された気仙沼にNPO法人「森は海の恋人」という団体があり、その代表でカキの養殖業を営む畠山重篤さんは、豊かな海のためには森が大切ということに40年前に気づき、震災後も変わらず植林活動をされています。畠山さんはこの取り組みが評価され国連森林フォーラムで2011年度のアジア地区「フォレストヒーロー」に選ばれたことでも有名になりました。今改めて森の価値が見直されています。

